

城山保育園の継続はなぜか

児童数の急増に対応



澤田 道孝 議員

問 英・北原・城山保育園を一園に統合し、英比保育園を新設するという当初の計画が撤回されたのはなぜか。

答 児童数が急増しているため、来年度保育を実施する6保育園では、平成26年度以降の園児の受け入れが難しいことが予想されるため。

問 東部地区に大規模住宅開発「陽なたの丘」が分譲され、5歳以下の児童数が急増したが、今後の対応は。

答 宮津保育園に保育室を4クラス増・改築するとともに、耐震に問題のない城山保育園を来年度以降も継続開園する。

問 廃園予定の3園のうち2園が休園とされたが、今後の予定は。

答 今回実施した児童数の人口推計以上に、また、推計より早く児童数が増加した場合に対応するため。



継続が決まった城山保育園

問 わくわくアイデア事業、わくわくコラボ事業の実施予定と、その課題は。

答 熱意と創意工夫あふれる企画提案を多数いただき、9月15日の公開ヒアリング審査を経て、町が実施する「わくわくアイデア事業」7事業と町民活動団体が実施する「わくわくコラボ事業」18事業が決定した。

現在、平成25年度の事業実施に向け、よりよい事業展開と多くの方に参加いただける方法を実施団体と調整している。

1%町民予算枠事業は

25年度に事業実施